



Information

THE GALLERY 企画展 今森光彦写真展「オーレリアンの庭」を開催

- ナチュラリストが夢見た里山が育む豊かな時間、美しい光 -

2019年9月30日

株式会社ニコンイメージングジャパン(社長:北端秀行、東京都港区)は、ニコンプラザ新宿・大阪の写真展会場「THE GALLERY」にて、今森光彦写真展「オーレリアンの庭」を2019年10月29日(火)より開催いたします。



●作家のコメント

蝶を愛するナチュラリストをオーレリアンと呼びます。ラテン語に由来する金色の蛹を意味するこの言葉を庭の名前にしました。

はじめは、30 数年前の小さな土地との出会い。農家の人に見放されたヒノキ林と荒れた田んぼ。でも当時の私にとっては、この場所がいろいろな夢をかなえてくれるかけがえのない土地にみえたのです。

私は、土地を手に入れてすぐに環境づくりをはじめました。自然を撮る写真家として培ってきた知識と経験を駆使して、木を植え、草を移植し、生きものが集まる庭をつくる計画をたてました。2 年後には敷地内に念願のアトリエも建てました。

このミニ里山づくり計画は、まずまずうまくいったようで、現在では、わずか 1000 坪ほどの敷地内に 70 種類の蝶が生息しています。

里山の豊かさが凝縮された空間、それが、オーレリアンの庭です。(今森光彦)

【プロフィール】



今森光彦(いまもり みつひこ)

1954年、滋賀県生まれ。写真家。琵琶湖をのぞむ田園風景の中にアトリエを構え活動する。自然と人との関わりを「里山」という空間概念で追いつける。一方、熱帯雨林から砂漠まで、地球上の辺境地の取材をつづけている。また、近年は、自然のかたちをハサミひとつで鮮やかに切り出すペーパーカット作家としても知られ、その作品は、全国の美術館などを巡回している。

写真集に『里山物語』(新潮社)、『湖辺』(世界文化社)、『世界昆虫記』(福音館書店)、写真文集に『萌木の国』(世界文化社)、『里山を歩こう』(岩波書店)、写真絵本に『神様の階段』(偕成社)など多くの著書がある。

第20回木村伊兵衛写真賞、第28回土門拳賞、第48回毎日出版文化賞、第56回小学館児童出版文化賞、第42回産経児童出版文化賞大賞など数多くの賞を受賞。

●THE GALLERY 企画展 今森光彦写真展「オーレリアンの庭」

会 場:ニコンプラザ新宿 THE GALLERY1+2、ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

展示期間:新宿 2019年 10月29日(火)～11月18日(月) ※日曜休館

大阪 2019年 11月28日(木)～12月11日(水) ※日曜休館

開館時間:10時30分～18時30分(最終日は15時まで)

●今森光彦 トークイベント:

新宿 2019年10月29日(火)17時～17時30分

2019年11月2日(土)14時～

大阪 2019年11月30日(土)16時～

2019年12月7日(土)16時～

※各回、申込不要・参加費無料

●「THE GALLERY」について

「THE GALLERY」は2017年7月に新宿、2017年8月に大阪に開設された、写真文化の普及・向上を目的とする写真展示場です。ニコンの最新機材を用いて著名な写真家が制作した質の高い作品などを展示する企画展の他、ニッコールクラブ会員展、写真団体展を展示します。

この件に関する問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部
108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟
株式会社ニコンイメージングジャパンPR事務局
ビルコム株式会社 担当:星・福田
TEL:03-5413-2411/FAX:03-5413-2412/Mail:nikon-press@bil.jp

馬橋・横浜
03-6718-3016
